

# 機能的食品・コスメ原料に関する評価技術の 確立及びその応用に関する研究（第2報）

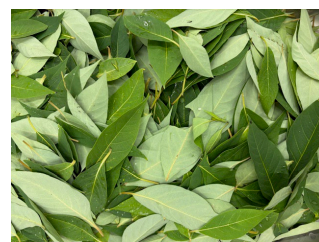
食品コスメ部 柘植圭介

**概要** 佐賀県に多く自生する未利用樹木「アオモジ」葉の含有成分や生理機能を明らかにし、機能的素材化を目指す研究です。

## アオモジ クスノキ目クスノキ科ハマビワ属 (*Litsea cubeba*)

**分布**：九州以南～東南アジア。佐賀県南西部（多良山系）における生育密度が極めて高い。

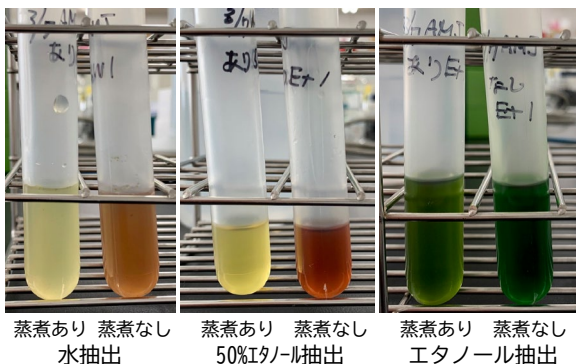
**性質**：高さは3～5メートル。葉、幹、果実、種子の各々に強い芳香があり、佐賀県太良町では「ショウガバナ」と呼ばれる雑木。



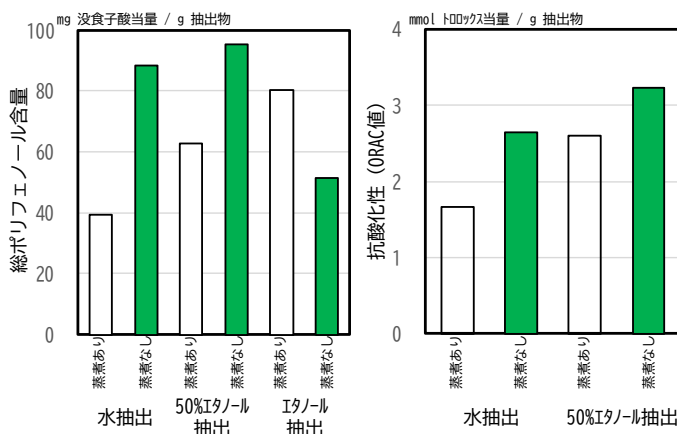
アオモジの生葉

**利用**：東南アジアで香辛料や精油等に広く活用されるが、国内の利用歴はほとんどない。

機能的素材化を目指し、抽出成分や機能性と加工条件との関係について検討



アオモジ葉抽出物の外観の違い



ポリフェノール含量と抗酸化性

アオモジ葉由来の抽出物はポリフェノール類を多く含み、強い抗酸化性を有する高機能的原料である。

溶媒種や蒸煮処理の有無により抽出物の性質が異なる。このことは、機能的素材としての葉の利用にあたり加工条件が重要であることを示している。

◇ 詳しい内容は、研究報告書でご覧いただけます。

【お問合せ先】佐賀県工業技術センター 食品コスメ部 0952-30-8162

